

目 次

1. 環境と文化 ……………(川喜田二郎)…	1
(1) 環境とは何か, 文化とは何か ……………	1
a. [主体-環境]系について ……………	1
b. 文化について ……………	3
c. 動的把握 ……………	6
d. 個性の把握 ……………	8
e. 創造と創造性 ……………	9
(2) 人文地理学・文化人類学などにおける環境への関心……………	10
(3) 文化生態系としての健全さ……………	13
a. 生業パターンの把握……………	13
b. 生業パターンから文化パターンへ……………	16
(4) 文化の発展段階と環境……………	23
(5) 現代における文化と環境……………	29
(6) 今後への提言……………	31
2. 環境経済 ……………(河野博忠)…	34
(1) 環境経済学の位置づけ……………	34
(2) 環 境 財……………	36
(3) 公 共 財……………	37
(4) 公害の経済学的特質……………	41
(5) 環境(公害)の技術的外部経済(不経済)性……………	44
(6) 社会的費用……………	48
a. 社会的費用……………	48
b. 環境保全費用と環境基準……………	50

3. 環境の制度と行政(橋本道夫).....	52
(1) 法制度と行政の三つの側面.....	53
a. 環境の脅威に対する対応.....	53
b. 環境の利用とその外部性.....	54
c. 環境保全.....	56
(2) 環境対応の構造, メカニズム, 過程.....	61
a. 構造.....	61
b. メカニズム.....	63
(3) 政策決定過程.....	73
4. 環境と人間活動(山中 啓).....	76
(1) 1972年: それまでとこれから	76
a. 国連人間環境会議.....	76
b. 人間環境宣言.....	79
c. 原則.....	80
d. 成長の限界.....	82
(2) 人間活動の環境への影響.....	89
a. 人間活動と環境との相互関係.....	89
b. 憂慮すべき人間活動.....	90
(3) 調和と共栄.....	94
a. 地球生態系の環境容量の限界.....	95
b. 日本の立場.....	95
c. 科学者の義務と責任.....	96
5. ソーシャルインディケータ(鵜野公郎).....	99
(1) 社会指標アプローチ登場の背景.....	99
(2) 修正 GNP 方式	100
(3) 社会指標リストアップ方式	103
(4) 選好度方式	111
(5) 社会指標と政策分析	114

6. 居住環境システム	……………(梶 秀樹)…	118
(1) 居住環境とは	……………	118
(2) 居住環境の計画	……………	121
a. インプットとアウトプット	……………	121
b. 目標と計測——アメニティと生活行動自由度	……………	122
(3) 居住環境のシステム	……………	125
(4) インプット評価と計画基準	……………	129
7. 社会資本	……………(小泉允圀)…	135
(1) 社会資本の定義	……………	135
(2) 社会資本関連の計画体系とその変遷	……………	138
a. 経済計画	……………	138
b. 個別事業計画	……………	139
c. 全国総合開発計画	……………	146
d. 地域開発政策	……………	147
(3) 社会資本整備のための公共投資の役割と問題点	……………	153
a. 公共投資の役割とその背景	……………	153
b. 公共投資をめぐる問題点	……………	155
8. 環境総合評価モデル—プロジェクト評価の理論と実際—	……………(安田八十五)…	159
(1) 環境総合評価の考え方	……………	159
(2) 環境総合評価のフレームワークと実際	……………	160
a. 東京湾横断道路建設プロジェクトの事例	……………	160
b. 横断道プロジェクト批判	……………	163
c. プロジェクト評価の一般的プロセス	……………	164
(3) 環境総合システムモデルの実際	……………	167
a. 第二次関東大震災の総合システムモデル	……………	168
b. 首都圏における大地震復旧シミュレーション・モデルの開発	…	168
c. シミュレーションのケース設定と結果の考察	……………	170

9. 環境アセスメント	(吉川博也)	176
(1) 環境アセスメントの社会的背景		176
(2) 方法論上の特性		178
(3) 環境アセスメント・モデルの提案		181
a. インパクト・プロセス・レスポンス-モデル		181
b. 環境アセスメント分析の段階		182
(4) 環境アセスメントの分析手法		185
a. 開発プロジェクトのインパクト特性		185
b. 伝播メカニズム特性とシミュレーション・モデルの選択		188
c. 環境影響被害特性と評価		189
d. 環境保全対策とその効果		194
(5) 環境アセスメントの社会化のための条件		195
a. 社会化の前提問題		195
b. 社会化のための提案		196
10. 地域的環境計画		199
10.1 国土および地方	(渡部與四郎)	199
(1) 総 説		199
a. 国土および地方の概念		199
b. 国土および地方計画の概念とその構成		200
c. 国土および地方計画の系譜		200
(2) 基本計画のたて方		201
a. 基本計画の考え方		201
b. 調 査		203
c. 計画の立案		206
d. 計画の調整と評価		208
(3) 事業計画のたて方		211
a. 事業計画の性格		211
b. 産業基盤関係施設		212
c. 生活環境関係施設		214

10.2 都市および農村	215
(1) 都 市	(川手昭二) 215
a. 都市の計画課題	216
b. 都市の基本構想	217
c. 都市の基本計画	225
d. 都市基本計画実現のための手段の体系	236
(2) 農 村	(佐藤洋平) 239
a. 農村空間の特質	240
b. 農村の役割	241
c. 農村計画の体系	243
d. 農村整備の課題	248
10.3 市 街 地	255
(1) 新市街地——その計画思想について	(若林時郎) 255
a. Haword の田園都市	255
b. 田園都市の影響	258
c. 英国のニュータウン	260
d. Corbusier の現代都市案	261
e. CIAM から Team 10 へ	263
f. フランスのニュータウン	264
(2) 地区計画	(日端康雄) 267
a. 地区計画の現代的意義	267
b. 計画単位と地区計画	269
c. コミュニティと地区計画	271
d. 土地利用と地区計画	272
(3) 市街地設計	(岩崎駿介) 276
a. 人間的視点の確立	276
b. 人間にとっての空間の意味	277
c. 市街地設計の具体的施策	279
d. 市街地設計の手順	281
e. 今後の方向	283

11. 環境施設整備	285
11.1 交 通(黒川 洸).....	285
(1) “交通”の意味.....	285
(2) 交通の構成要素	285
(3) 交通施設の機能	286
a. 交通処理	286
b. 防 災	287
c. 供給処理施設などの収納スペース	290
d. 景観, 美観	290
e. 土地利用の誘導	290
(4) 交通需要の特性	291
a. 計測単位および用語	291
b. 交通需要の特性	292
(5) 米国における交通施設整備と環境問題	301
a. 米国における環境関連法	301
b. 環境関連法と都市交通計画	302
c. ボストン都市交通計画の再検討	305
(6) わが国の道路整備と環境問題	307
a. わが国の環境影響評価に関する動き	307
b. わが国の道路環境問題とその対応	309
11.2 生活施設(谷村秀彦).....	312
(1) 生活施設計画の考え方	313
a. 施設の機能別系列	313
b. 施設の対象となる生活圏の段階	314
c. 生活施設の体系化	316
(2) 生活施設計画の過程	317
a. 計画条件の把握	317
b. 計画目標の設定	319
c. 計画案の策定	320
d. 事業化と管理運営	325

e. 評価と意思決定	326
11.3 廃棄物処理	(中村以正・国府田悦男) 327
(1) 廃棄物処理の概要	327
(2) 廃棄物処理の方法	330
a. 生活系排水	330
b. 事業系排水	331
c. 固形廃棄物	332
(3) 廃棄物処理のプロセスと操作	336
11.4 緑地	(高原榮重) 339
(1) 緑地の概念	339
(2) 緑地の種類と分類	341
(3) 緑地の機能	343
a. 緑地の機能の発生源	343
b. 緑地の機能とその分類	343
c. 緑地の機能の計量化	344
(4) 緑地の計画	345
a. 計画のフロー	345
b. 計画の重要事項についての考え方	347
12. 特定環境問題	354
12.1 都市防災	(熊谷良雄) 354
(1) 都市災害と都市防災	355
(2) 都市防災対策の経緯	360
(3) 都市防災研究の今後の方向	365
12.2 景観とアメニティ	(田島 學) 368
(1) 景観	368
a. 幼少年期の景観体験	368
b. 景観を現象として捉える	369
c. 歩行者の注視行動特性	370
d. 景観実験と景観提示方法	374

e.	景観の分節構造	375
f.	景観評価実験——商業地景観の例	379
g.	地域地区の景観特性	381
h.	景観計画に向けて	384
(2)	アメニティ	385
a.	アメニティの理解	385
b.	アメニティに関するアンケート調査の事例	385
c.	日本におけるアメニティ	387
12.3	自然保護	(糸賀 黎) 390
(1)	自然保護の歴史的経緯	390
(2)	保護と保全	391
(3)	自然との持続的共存——新しい保全のための考え方	393
(4)	保全の目標	396
(5)	保全のための政策と行動	397
索 引	403

